

# まちの 予算

## 財政健全化とコロナ対策

町民の皆さんが将来の金山町に希望を持って、より良い未来が実現されること。この目標を達成するために、「財政健全化」と「コロナ禍で求められる行政サービスの提供」をポイントに、令和3年度当初予算を編成しました。

財政健全化については、最少の経費で最大の効果が発揮されるよう、全ての事業の見直しに着手しました。しかし、公債費や社会保障費の増加などを理由に、一般財源（使い道が特定されていない歳入）に対して、経常的な経費が過剰な状態となっています。現在の財源不足が続いた場合には、基金（町の貯金）残高が減少し、人口規模の縮小や地方交付税の見直しからも、今後10年間程は厳しい財

政運営が強いられると予測されています。

## 令和3年度は決断の年 キーワードは「新陳代謝」

令和3年度は、今後の町政を左右する「決断の年」と捉えています。特に、財政状況に大きく影響する事業について、安定した財政運営に繋がる方針を示す必要があります。当面の財政見直しは厳しいですが、行政は未来の町民の暮らしを保障する義務があり、町民にとって「住んでよし」の町でなければなりません。「町民のためになる事業なのか」を真に見つめ直し、判断することが求められています。「なんとかなる」と楽観的では、状況は変わらせず、「何をしても無駄」と悲観的になっても未来は開けないと考えます。

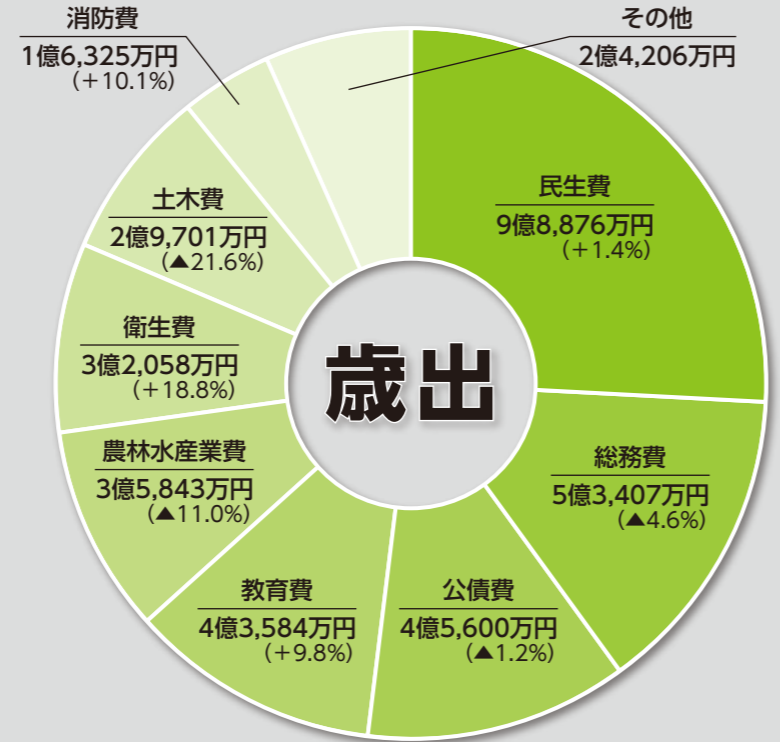
「新陳代謝のR3」令和を生き抜く持続可能なまちづくりを。これは令和3年度予算編成にあたり掲げたスローガン。事業の新陳代謝を図ることで、令和の時代に合った持続可能なまちづくりの在り方を確立し、中長期的なビジョンと将来の町の姿を示す年とします。

# 「新陳代謝」のR3

令和3年度  
一般会計 **37億9,600万円** (前年度比 1.2%減少)

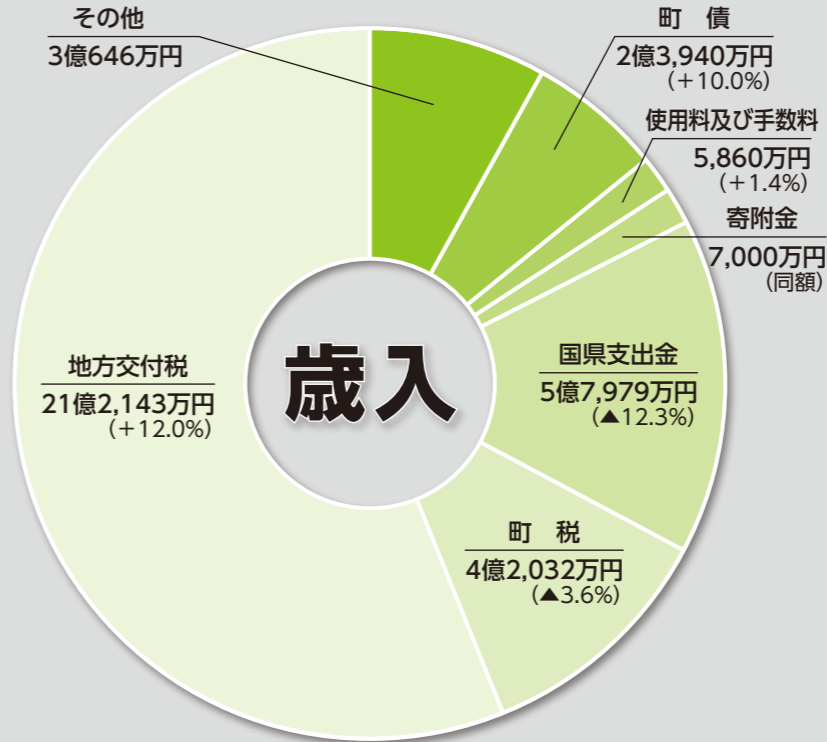
### ●主なハード事業

道路橋りょう維持・改良整備事業	4,779万円
林業成長産業化地域創出モデル事業	4,575万円
田茂沢・蒲沢地区基盤整備事業に係る測量調査等業務	1,510万円
スクールバス購入事業	1,180万円
消防小型動力ポンプ積載車(三枝地区)	956万円
教育文化資料館解体工事	812万円
小学校施設整備事業(金山小学習室照明LED化など)	762万円
公営住宅等長寿命化計画策定業務	507万円



### ●主なソフト事業

町立金山診療所運営支援(一般会計からの支援)	1億2,709万円
まめ(落花生、健康、勤勉、忠実)づくり推進事業	2,203万円
育児支援事業(出産祝金、家庭育児支援金など)	2,174万円
町社会福祉協議会運営補助	1,989万円
プレミアム付き商品券発行事業(2回実施)	1,145万円
グリーンバレー神室経営診断業務委託	275万円
関係人口創出事業(ソトコト連携事業)	220万円



※円グラフの( )内は前年度比増減率

### ●歳入歳出科目の説明

**[歳出]**  
 民生費……福祉サービスの提供などに使われる  
 総務費……総務管理、地域振興などに使われる  
 公債費……町の借入金の返済に使われる  
 教育費……小中学校などの管理運営や施設整備、生涯学習の推進などに使われる  
 農林水産業費……農業、林業の振興などに使われる  
 衛生費……健康増進やごみの処理などに使われる  
 土木費……公共施設整備や維持管理などに使われる  
 消防費……防災力向上、消防団の運営などに使われる  
 その他……ここでは議会費、商工費、災害復旧費、予備費

**[歳入]**  
 地方交付税……全ての市町村が一定の行政サービスを行えるように国が交付するお金  
 町税……町に納める税金(町民税、固定資産税など)  
 国県支出金……町の事業に対して国や県が交付するお金  
 寄附金……ふるさと寄附など町に寄附いただいたお金  
 使用料及び手数料……公共施設の使用料や窓口手数料など  
 町債……借入金のうち長期にわたり返済するもの  
 その他……地方譲与税(国税として集め、全部または一部が市町村に譲与されるお金)や繰入金(基金などから一般会計に繰り入れるお金)などが含まれる

### ●会計別予算額

会計名	予算額	前年度比増減額	前年度比
一般会計	37億9,600万円	▲4,700万円	▲1.2%
国民健康保険特別会計(直診勘定)	2億790万円	▲1億4,957万円	▲41.8%
後期高齢者医療特別会計	6,696万円	+720万円	+1.1%
介護保険特別会計	9億2,263万円	+5,993万円	+6.9%
農業集落排水事業特別会計	6,120万円	▲4,605万円	▲42.9%
公共下水道事業特別会計	2億310万円	+3,772万円	+22.8%
水道事業会計(資本的支出)	1億1,248万円	+2,508万円	+28.7%
水道事業会計(収益的支出)	1億9,830万円	▲103万円	▲0.5%

# 予算の要点

【お問い合わせ】  
総合政策課 財政担当  
☎5212111（内線234）

ここでは、令和3年度当初予算について、ポイントを絞って紹介します。予算編成にあたって重視したのは「人口と財政の規模に合った事業なのか」という観点。全ての事業について積極的に議論を重ね、突き詰めて検討した結果を、7つの要点に整理しました。

また、「財政状況の見える化」に取り組むため、町ホームページに予算に関する各種資料を掲載しています。ぜひご覧ください。

## 3 来年4月に迫った小学校統合 確実な準備と適切な学習環境を

令和4年4月の小学校統合に向け、将来を担う子どもたちにふさわしい学習環境を整えます。スクールバスを1台増車し、明安・有屋地域の児童が安心して通学できる仕組みを整えます。また、廃校を予定している2校が、誇らしく長い歴史に幕を閉じることができるよう「明安・有屋小学校閉校記念式典補助金」を交付し、記念セレモニーに係る経費の一部を補助します。

時代に合った学習環境の提供も大きな課題。これから生きる子どもたちにとって必要不可欠なICT教育については、専門の支援員を配置することで、2年度に導入した一人一台タブレットを最大限有効に活用していきます。

タブレットの導入により、一人ひとりの反応が確認でき、きめ細やかな指導が可能に。また、考えの共有が簡単にでき生徒が積極的に授業に参加することができます。



## 2 町立金山診療所が無床化に

町立金山診療所は、4月から無床化となり、新たな体制でスタートが切られます。経営のスリム化により人件費が圧縮され、診療所への一般会計繰出金は、1億2,708万円と前年度比6,753万円減少しています。

入院施設はなくなりますが、標榜する内科・外科・小児科・疼痛外来の4科目は確保し、外来診療はこれまでと同様に実施します。無床化によって、医療サービスの低下を招くことのないよう万全に準備の上、職員一同、懇切丁寧な対応を徹底していきます。



訪問診療や訪問看護体制の強化、他の医療機関との連携を一層推進し、信頼される「かかりつけ医療機関」を目指します。

## 1 当面の優先課題は 新型コロナウイルス感染症対策

何といても、新型コロナウイルス感染症対策は、当面の優先課題。まずは、円滑なワクチン接種を確実に実施できるよう準備を進めています。

3年度予算においては、感染防止のため、町主催の研修や視察は原則見送りとしています。実施予定の事業も感染状況によっては、町のガイドラインに従い、柔軟かつ的確に実施内容を判断していきます。

さらに、接触をできる限り避ける必要性が高まっていることから、一層重要な課題である行政の「デジタル化」。3年度はオンライン研修を積極的に実施するための予算を確保しています。また、新たな情報伝達基盤として、町公式LINEの運用を検討しています。より広く、そしてスピーディーな情報発信ができるよう活用していきます。今後は、各種手続きが簡素化となるような仕組みも検討する予定です。

## 4 令和2年度に実施した健全化策

早期に財政健全化の方向性を示すため、以下のような対策のもと動き出しました。

【2年度に決定・3年度に実施する事項】

- 中央公民館の新築計画、定住促進住宅建設計画を白紙に。事業計画をゼロから見直す。
- 物件費（消耗品等）の抑制、町単独補助金の見直しなど、事業見直しによる効果額は1億2,500万円と試算。
- 役割を終えた建物や土地について、売却候補を整理し、後年度の維持補修経費を抑制。
- 徴収率向上のため、新たに公金収納対策専門員を配置（3年度から）。
- 「関係人口創出事業（ソトコトとの連携）」を展開するため、ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングにより歳入確保。
- 予算編成方針をはじめとする財政資料を積極的に公表しオープンな財政運営へ。

## 5 さらに財政健全化に向けた3つのポイント

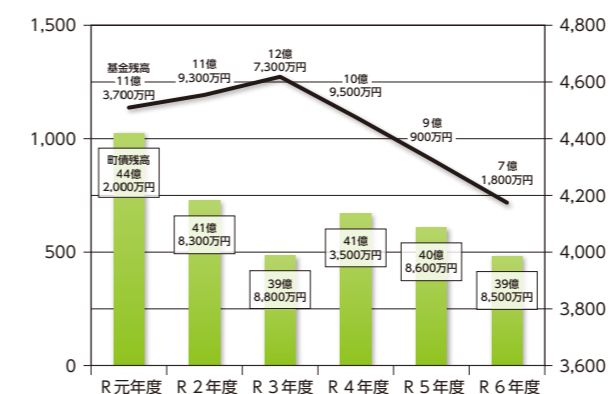
- 中央公民館の在り方
  - グリーンバレー神室一帯の在り方
  - 公共施設の機能集約化
- 財政健全化に大きく影響する上記3つのポイントを重点的に見直します。
- 老朽化が進む中央公民館は、3年度に検討委員会を組織し、既存施設への機能移転を含めた今後の在り方を早急に検討していきます。
- また、来場者の減少が大きな課題であるグリーンバレー神室一帯。2年度に引き続き委託を予定するコンサルティング診断の結果を分析し、現実的かつ抜本的な経営改善の実現や収入に見合った事業展開の方策を模索していきます。
- 公共施設全般については、令和時代に合ったコンパクトで機能的な管理運営が理想です。3年度には、地域の意向や必要性などを考慮した上で、教育文化資料館と旧金山ハウスを解体する予定としています。

## 6 基金残高（貯金）と町債残高（借金）の状況

3年度当初予算では、基金残高を早急に確保する必要があると判断し、原則として基金から繰り入れをしないことにしています。その分、地方交付税を交付決定額ベースで予算計上しているため、前年度より大幅に増加しています。

下記は、現在の財政中期計画に基づく、基金と町債残高の推計です。交付税の見込みや大規模事業の想定により、ともに増減がありますが、知恵を絞って町債抑制と基金増加を図っていきます。

●基金残高（貯金）と町債残高（借金）の推移見込【単位：百万】



## 7 未来を保障する行政サービスを

行政には、将来にわたる安全で安心な暮らしを保障する義務があります。その大前提のもとに、未来の町民の皆さんにも理解していただける町づくりを行っていかねばなりません。

多くの方々が高い関心を持たれている「防災・減災」「雪対策」「農林業の振興」「健康づくり」「子育て支援」などについては、特に重点的に事業を展開し、快適な生活環境をつくっていきます。

「みんなが主役、みんなの故郷、金山町」の実現に向け、常にオープンでクリーンな、町民の皆さんに信頼される町づくりを行っていきます。

「介護予防事業」や「生きがいづくり事業」を通して、生涯にわたり活躍できる環境を整えます。ご自身が元気に生活できることが最大の喜びだと考えます。

